

## 奨学金問題

### 4 地区提言に対する感想

- 特にありません。
  - 現状抽象的なので、いかに現実にしていくかが課題かと。
  - 稚内型の奨学金があれば今の子供たちの未来が広がると感じた。さらに魅力のある街になる。
  - どの地区も大変熱心に取り組まれていて勉強になりました。
  - 夢とか奨学金も大切かもしれないけど、子供たちが夢を持つための機会、身近な大人（先生、親以外の人）と夢を語るなどの将来のキャリアを考える教育を重点的にできる教育体制及び地域づくりが必要なのでは？
  - 各地区、稚内の子供たちの将来を考えた奨学金の在り方を考えていると思った。少しでもその役に立てられるような人を目指したい。
  - よかったよ。
  - 各地区、小・中・高とのつながりが良く理解できました。
  - 各地区ともしっかりと考えを持っており、各地区それぞれの熱意と想いが伝わる発表だったと感じました。
  - 街づくりをベースにした、稚内型奨学金制度について初めて知りました。自分が中学生のときにきいていたら、きっと夢を叶えるためにもっと勉強を頑張っていたと思う。
  - 納得した。
  - どこの地区からも子供たちを支援するための稚内型の奨学金制度の実現を求めているという熱意が伝わってきました。これから実現に向けてより具体的話を進めていくと思うので、各地区各団体が連携して、ぜひ、稚内型の奨学金を作り上げてほしいと思います。
  - もう少し論理的な話をしてほしい。
  - 世論をつくってきっかけにはなると思いますが。世論にしていくための工夫が必要だと思います。
- と思います。現状では「一部でもりあがっている」という様子が否めないと思います。
- 貧困では夢は叶えられないのか疑問に思う。
  - もう少し具体的な制度の概要を知りたかった。理念は立派でしたが。
  - 当市の財政状況を考えると、どこまで実現可能なのかと。
  - 子どもが稚内市内に戻ってくる、残ってもらうためにどうするかがキーワードになると思います。医療や福祉に視点を置いているのは良いことだと思いました。
  - まだ具体案には遠いですし、課題も山積みですが、思いを語り合うという場は非常に重要だと思います。ぜひ、実現に向けて行政も協力してほしいなと思いました。
  - 稚内型給付金の活動を少しでも広げることができるとよいと思いました。
  - 潮見地区の発言に現場の頑張りを確認できた。
  - 各地区の稚内を愛する力、子供を大切に思う提言にすごく希望がもてた。
  - 街づくりの視点から考えること大切にしてほしいです。
  - すごく時間をかけて準備なさったんだろうと思います。ご苦労様です。1番時間をかけてなさそうな潮中の校長先生の話が、1番聞きやすく頭に入ってきたのは不思議です。
  - 稚内型奨学金（給付型）の実現を望みます。
  - 夢の奨学金制度、夢を持ち願うこと、そして具体化していくこと、難しい問題、課題は山積みだと思うが、どこも街づくりを真剣に考えていて素晴らしいと思いました。
  - いろいろ課題はあるが、みんなが必要だと感じていることがわかった。
  - 各地区、色々な視点から子供たちの夢を応援する為の話し合いがなされているんだと思った。ぜひ夢を追い続ける子供たちの為に、話し合われている稚内型奨学金制度の創設を実現していただきたい。
  - わかりやすく、よくまとめられていた。稚内の地域の発展を大切にしたい子育てを強く推進してほしい。

- 奨学金＝まずは高校なんだと思いました。大学はまだ先なんですかね・・・？そして人材は医者なんですわね・・・。(夢が画家なら奨学金はもらえるのかしらと不安になります) 子供というより老人？医者不足に悩む人たちという印象です。出すからにはリターンがほしいですもんね。子供に医者になる夢を押し付けるのはどうなのでしょう？医学部が学力のバロメーターなんですわね。少しずれてませんか？わかりやすくはあるけれど。
- 各地区での特色ある活動。これからも進めてください。
- 稚内型の奨学制度の創設を早くできることを願ってます。
- 稚内型奨学金制度を作って、実現できればいいと思った。
- 奨学金が必要ない社会のほうがいい
- 実現するかどうかはわかりませんが、未来に向けての第一歩ということでよかったと思います。
- 実現することに希望があり、どの地区も熱い話し合いが行われていたことがわかりました。
- (医者・医学部)に入らなければ、奨学金はもらえないようなそんな印象を受けました。
- できることは何か、そんな声をありがとうございます。
- このまま、稚内型の奨学金の実現に向けて、取り組みを進めてもらいたいと思います。
- 給付型奨学金の必要性は理解できるが、やはり何らかの基準は必要と思う。
- 稚内型をどう作っていくか、応援していきたいと思いました。
- がんばってほしい
- 理念や理想、希望、体験談など給付型奨学金の必要性は重々理解できるが、やはり問題は財源。
- よく時間をとって議論してるなあって。
- 街づくりがキーワードだとわかった。
- 稚内の街づくりの方向性を提言されていて、共感しました。
- 各地区の熱意ある発表でよかったです。
- 「街づくり」という言葉が4地区ともキーワードになっていました。貧困対策だけが分離して歩むのではなく、「街づくり」のビジョンをリンクさせた考え方が大切だと感じました。
- あまり目立って記憶に残ることがありませんでした。
- 奨学金といっても制度をつくるのは難しいと感じました。
- 市の財源を考えると大変だと思う。できるにこしたことはないが。
- 各地区の街づくりにたどりつく奨学金制度の在り方は、とても大切だと思います。加え、小、中学生の保護者は、教材費・給食費等を学校に納入できていない保護者がいることも現実です。生活保護(教育費)の納入システムの改善や、教育費免除等考えていくことも必要と考えます。
- ぜひ稚内型の奨学金制度をつくってほしい。
- 各地区で話されていることがわかりよかった。
- 必要性をあまり感じない。
- 各地区子供の貧困についての取り組みがわかりやすく説明されてよかったと思います。
- 稚内の街づくりや、子供たちの夢を実現させていくために稚内型の、給付型の奨学金をつくりたいものだと感じました。
- 各地区の発表も素晴らしかった。
- 4地区の取り組みは継続した取り組みとしていけば、具体的なものができてくると思う。
- かつて、子育て平和都市宣言をした時の大人のパワーを感じます。(自分はリアルタイムにその頃を知っている訳ではありませんが)奨学金という1つの形にたどり着いたことが”形のあるもの”への安心、形ができたからおわり、ということにならなければ良いなと思います。
- 各地区とも本気が伝わった。
- しっかりとした協議、検討が必要。
- 市民参加型の奨学金制度ができるように、ぜひ力合わせができるといいと思いました。稚内だからできると信じています。

- 各地区の提言すばらしかったです。現場の生の声を市民に届けてくださいました。子供が夢を描く、子供の画像が見えた時はうれしかったです。
- 各地区ごとに違った角度から、貧困対策に、また、奨学金制度について取り組んでいることに希望の光を感じます。
- 各地域の取り組みをぜひ発展させていって「稚内型の制度」を日本中に発信できるようになればと願うばかりです。
- 各地区の人は頑張っているなと思いました。
- 世の中を変えていかなければならないことに向かって意見する活動は大切だと感じました。
- 街作りの視点が大切だということがわかりました。
- 全体的に「稚内型奨学金制度」提起しているように思います。ちょっと具体性に欠ける意見があったので今後の課題と思われまます。
- 給付型の奨学金を完全給付することを願います。
- 是非、街作りにつながるような奨学金、夢のある奨学金の検討をお願いします。
- 稚内の現在の教育の様子が少しわかりました。何か手助けできることがあればやってみたいですけど。
- 各地区での粘り強い協議・研究の努力に敬意を表します。
- 四つの提言良かったですね。頑張ろうと思いました。
- 非常に短くわかりやすい報告でした。
- 街作りを基本に人作りですね。
- 各地区の頑張りが伝わってきました。子どもの貧困問題を考えることがすごいと思いました。
- 子どもの貧困問題の解決にはすべての大人の方の力合わせが必要です。
- 分かりやすく発展的な内容で良かった。
- 5分でまとめるのは大変そうでした。
- 北地区船木校長の話はとても身近で説得力がありました。
- 地区の発表から高校の頑張りが良く見えた。
- 大変良い集いでした。子どもの貧困を市民ぐるみで考えること、素晴らしい。「稚内型の奨学金制度」素敵。是非みんなで作っていきましょう。自分たちで作ることが大切ですね。
- 具体化を共に。
- 4つとも素晴らしい内容でした。
- これからも少しずつ進めていきたいです。
- それぞれの地区の提言は参考になった。
- 街作りの視点での提言、素晴らしかったです。
- 各地区の討議の柱や視点の素晴らしさに関心しました。話し合いを重ねる中でより確信をもって方向性を見つめた経過がとてもよく分かりました。
- 各地区の取り組みがどれほど広く知られているのか………多くの人と考え合いたい。
- 地元の人が良くしたいとの思いを強く感じました。
- 4地区のそれぞれの発表、良かったです。稚内がつながっていける社会になってほしいです。
- 良かったです。
- 各地区が各々提言をまとめたの発表、大変良かったと思います。行政もできることから取り入れていただきたい。
- 大変結構な話ばかり（きれいごと）で整っております。現在の稚内市には夢がありますか？早く稚内を出たいと思っております私にとっては驚きばかりの話が多かったです。
- いじめ。
- 各地区の考えを聞き、子育て、子どもたちをあたたく見守っていきたくと思います。
- どの地区の提言も奨学金が子どもたちの夢を応援することになる稚内で「稚内型奨学金」制度の創設で多くの子どもたちに夢をもって努力してほしいと願っていること。
- 簡潔、明晰！4地区ともすばらしい提言でした。
- 各地区ともとても考えられたものでした。1つになって稚内の奨学金の誕生を願い、努力し、力合わせしたいです。

## 奨学金問題

### 岩重講演の感想や意見

- 私も日本学生支援機構から借りていました。借りようと思った高校生の時は親に迷惑をかけたくない一心でしたが、借り始めてから借りなきゃよかったと思いました。
- 現場の制度の課題をよく理解することができた。
- 奨学金を借りている自分と照らし合わせながら聞き、自分の将来について考えなくてはいけないと思った。自分も変える力をもって、声を上げていきたい。
- 大変わかりやすい説明であり、現在の支援機構や、国の制度、社会の認識の問題点がわかりました。
- どうして大学の費用が値上がりしたのでしょうか。
- 大学生の現状をきき、自分の学生時代にも当てはまることがいくつかあった。自分から苦しい状況をつくっているのではなく、その状況から抜け出すためにもがいているんだと思った。
- よかったよ。
- 今後、自分の子供の為にとっても参考になりました。
- 子どもの貧困と、奨学金についてすごくタメになる話をきけたと思います。講演の内容や発表のわかりやすさはもちろん、最後の「助けて」と言える人、そして、「耐える強さ」を「変える力」というフレーズが深く印象に残った講演でした。
- 奨学金制度についての問題がニュースなどで取り上げられて、都会などでは、自分よりももっと大変な人がいるんだと思って、頑張っているけど、制度自体の問題が背景にあることを知ることができて、とても良かった。
- 奨学金に対する考えが変わった。高校生のときに聞いていた説明と全然違うことに驚いた。
- 短い時間の中で、情報量が多く、構成もわかりやすく、感動した。稚内独自の奨学金の位置づけも明確になった。
- 社会に出る前の大学生時にすでにワーキングプアに陥っている学生がいることに少なからずショックを受けました。その一因となっている奨学金制度が、子供を救済するものではなく、子供を追い詰めているものになっていることが残念でなりません。一刻も早く子供のための奨学金制度となるよう、我々自身も意識していく必要があると感じました。
- 助けてと言える社会。大切であることを学びました。
- 奨学金の現実を知りました。私も学生の頃、学費のことを考えながら進路を考えていました。夢がある子供達には、そういったことを考えずに夢を追える将来にしていけるといいし、そのための取り組みがあるなら積極的に協力したいと思いました。
- 奨学金を借りて大学進学をすることで、誰でも貧困に陥る可能性があるということが、すごく怖いことだなと思いました。
- 最近の社会情勢などわかりやすく、話もおもしろかった。
- とてもわかりやすい説明だった。
- 短時間で内容がまとまっていて、わかりやすかった。
- 貴重なお話ありがとうございました。今の世の中は弱者は強者に従うしかない、耐えるしかないとの状況に感じざるを得ません。これを変えていける世の中に変化していく必要があることを講演のないようから感じ取ることができました。
- 貸与型奨学金→給付型奨学金の拡充できるようにする。
- 大学進学ありきの話で、進学しなくてもよい社会が必要でないか？
- よかった。
- 奨学金問題について明確でわかりやすい講演でした。
- 奨学金の問題について、第一線で取り組まれている、先生のお話を聞いて良かった。

- 高校・大学と奨学金を借り、大学卒業と同時に300万超の借金を抱えました。今のところ延滞はしていませんが、これからまた何年もこの生活かと思うと不安が非常に大きいです。これから日本を支えていく子供たちが同じ思いを抱えないよう、何ができるのか考えていきたいなと思いました。
- 日本の奨学給付金事情をあらためて知ることができてよかった。データで明らかに傾向が出ているのだから、国がきちんとした奨学にかかわる制度をつくらなければならないと思いました。
- 自分の学生の頃と現在の学生の環境がこんなにも違うことに驚いた。奨学金が返せない背景を知れた。
- 奨学金制度の裏と奥深さ、貸与型の怖さ、給付型の財源の難しさ、実際に借りる学生はここまでのことを知らずに借りているはずなので、もっと奥を周知すべきだと感じた。
- 奨学金を借りることのおそろしさがわかりました。
- 奨学金、おそろしいなーと思いました。教育という夢を食物にしていますね。こんな形の奨学金ローンはいらないです。人材を育てることは国の為にもなるのに、教育にお金をかけない国はおかしいです。こわれても骨までしゃぶる、回収してるのはおかしいです。こんなものに頼らず、お金をきちんと回しながら地域も人も豊かにする新しい奨学金ができるとうれしいですね。
- とてもわかりやすいお話でした。
- 奨学金の仕組み、返済の大変さ。安心して勉強ができる制度が早く創設されることを望みます。
- 大変いい話をきかせていただきました。
- 今の大学生の実態を聞いて自分の子供の状態と重ねて考えてしまった。今は奨学金を借りずに頑張ってるが、子供がバイトをしなければいけない状況、生活を我慢させている状況なんだと改めて感じさせられた。しかし、今の制度では奨学金を借りるわけにはいか大きな勇気をもらいました。
- ないと思った。
- 子どもたちの学生環境の厳しさ、経済的な支援の必要性を強く感じた。
- 個人的には1時間、集中して拝聴することができ、ためになるお話でした。来てよかったです。
- 「助けて」と言える人（社会）に！弱みを隠さずに見せて、ほかの人にわかってもらうことが大事。自分も育英会の奨学金を借りた1人として、初めてわかったことが多くありました。
- 聞きやすく、親しみやすいお話でした。
- 奨学金の詳しい仕組みを、わかりやすく説明していただき、よくわかりました。大学生の実態や奨学金の仕組みがわかり、自分の子たちにも、伝えたいと思いました。
- 学費が高くなければ奨学金の問題は減ると思った。奨学金の制度設計が大事。
- 奨学金について、改めてというより、運用的に負の力の方が大きいのではないかと考えさせられた。これは国の施策を変える力をもっていかななくてはと思いました。
- 今の学生が抱える奨学金絡みのリアルな実態を理解できた。まさに新手の金貸し問題だが、教育現場の教育の質をあげる、学力を保障することはこの問題に対する回答の1つであると思う。
- 改めて支援機構のあくどさを実感した。
- 奨学金の怖さを知りました。
- 奨学金の問題の内容が参加してわかりました。
- 現状を分かりやすく解説いただき、参考になりました。
- 奨学金返還の仕組みがわかりました。
- すばらしいの一言。もう一度聞かせていただきたい。
- 非常にわかりやすい内容で、他国との比較などデータも豊富で説得力がありました。
- 現状がよくわかった。
- 今の奨学金制度はどこかまちがっているような気がします。弱者を救うのが奨学金なのでは。

- 大変わかりやすい講演内容で、奨学金問題をすごく身近に感じることができました。もっとたくさんの人たちに聞いていただきたい内容と思いました。稚内型の奨学金はどうなるのでしょうか。
- 奨学金制度の問題がこんなにあるとは思いませんでした。とても勉強になりました。
- 奨学金制度の実態がよくわかりました。
- 現在の学生の状況を基本において、わかりやすい説明だったと思った。自分たちの頃と大きく変わった社会に、ガクッときた。奨学金も金儲けの手段となっている国は「終わっている」と愕然とした
- 奨学金の現状や問題点を知ることができました。国が教育にお金をかけていないことでおこる様々な不平等、問題点が解消されるといいです。
- 大変わかりやすかった。
- とてもわかりやすい説明でよかったです。
- 現行の奨学金制度の問題点をたくさん知ることができました。大学の授業料が他の国々に比べて極めて高い事、奨学金の取り立てがとても厳しいことなど、学生が貧困に陥ることもわかり、制度を変えていく必要性を感じた。
- 奨学金について、知らないことが多く、とてもためになった。自分の子供が進学をこれからむかえる為、ぜひ制度が世界に1歩でも2歩でも近づけるように改正してほしいと思った。
- 学生の想いとちがう目的の制度であり問題点がわかりました。
- 市内4地区の熱意に、ちょうどいい水を差す話だったと思います。たくさん学びとなる言葉をいただきました。遠いところをありがとうございます。
- 沢山のデータ、根拠を示しての説明、非常にわかりやすい話だった。
- 奨学金は親が子の為にとあってその時は利用しますが、実は卒業と同時に返済がまわっている現状。
- 制度の問題点を明確に伝えて頂きました。報道されないことを知ることができてよかったです。頑張りすぎない、耐える強さを変える力にしていきたいと思います。
- 素晴らしい内容と考えさせられました。「変える力」を稚内の中でしょうとしてる!!と結んでくださったことに感激です。
- 今の状況を分かりやすく伝えて頂き勉強になりました。地域・社会・国を交えて、奨学金制度を考えていく必要性を感じました。
- とてもわかりやすく良かったです。説得を感じました。
- すばらしい内容でした。それと同時に日本の奨学金制度や教育政策のあまりのひどさに驚きました。話の最中、首相の顔や政権政党の顔が浮かび、怒りがこみ上げてきました。
- なかなか普段聞けない話でおもしろかった。
- 大変興味深い内容で勉強になりました。奨学金の問題の重さがわかりました。
- 奨学金のおそろしさが良くわかりました。
- 学生の今がとても苦しいと知り、びっくりしました。
- 過去・現在の問題点を見分け、将来に向かってどうすべきかを考えることができて良かった様に思われます。
- 奨学金制度がローン会社のようになっていること。より一層の貧困の連鎖につながっていること。学費の高騰と低賃金のかねあいが貧困を増加させている現状を考えさせられます。
- 勉強になりました。
- 現在子どもたちが奨学金を借りているので、大変興味深い話であった。
- かつて「意識」が「存在」を規定するのか「存在」が「意識」を規定するのかが差別と人権を考える時に視点が問われていると学生時代の学びを思い出しながらこの国の構造の怖さ、システムの怖さを感じました。変える力にしたいですね。ありがとうございました。
- 現役奨学生の親です。これを機会に奨学制度の勉強をします。
- 具体的で今後の活動や考えに指針をいただいた。

- 子どもの夢を奪う貧困。それが国の政策によって創り出されていること、憎むべき事です。子ども、人を大切にする稚内、私たちの街で夢のある稚内型奨学金がつけられることはとても素晴らしいことだと感じました。
- 本当に分かりやすかったです。来年もまたゆっくり話を聞きたいと思います。それを実現させて下さい。お願いします。
- 「貧困に耐える」から「貧困の根を断つ」という発想と実践の創造が大事ということです。
- 先生の本を読んでみたくなりました。徹底して国民をいじめる政府ですね。
- 今の大学の授業料は本当に高いと思います。子どもは親が育てるのがあたりまえですがしかし、「社会が育てる」という視点で考えることが大切と痛感しました。「子は社会の宝」といわれますが、それを制度的に保障する国になって欲しいです。
- 奨学金の制度が何故問題なのかがとてもよくわかった。「自分たちの望む奨学金をつくる」ということが大事だとわかりました。
- 私は進路の仕事をしています。学生のためと奨学金を借りる事を毎年進めてきました。様々な問題に気付かされました。今後よく考えてから指導したいと思っています。ありがとうございました。
- 奨学金問題を考えていくきっかけとなるお話でした。
- とても良かったです。
- おつきあいで参加したのだけれど、思わず引き込まれました。情緒に流れること無く、客観的な資料で納得・共感の連続でした。
- 大変分かりやすくポイントを押さえた内容で勉強になり、希望も感じました。学生支援センターに対しての見方も変わりました。
- 奨学金について知らないことがたくさんあり勉強になった。
- 聞きやすく、現在の大学生生活の実情が良く分かった。やっと奨学金をもらえてもその後が保障されていないので前途不安。現代の大学生も大変なんだと再認識した。
- 奨学金制の問題点が良く分かった。もっともっと教育に国費を！税金を教育に！
- 本も読ませていただいておりますが、とてもわかりやすく問題化していると思います。
- 奨学金問題の内容について初めていろいろわかった。
- お話を聞いて日本の国のサラ金のようなおそろしい奨学金の実態がよく理解できました。国の制度を変える取り組みと同時に、自分たちの奨学金制度を作ることの大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。
- 大変分かりやすくなるお話でした。「耐える強さ」を「変える力」という言葉に感銘を受けました。
- 構造的に読み解く意味と大切さを実感しました。日本的価値観の問いかけは重たい。
- 難しい内容をわかりやすく聞けた。話を聞いて勇気が湧いたし前向きに行動したいと思った。
- 制度が抱える問題をわかりやすく説明いただいた。もう少し目や耳を傾けたいと思った。
- 丁寧なお話でした。難しい問題ですが、人と人がつながる社会を作らなければならないと思います。
- はげまされました。また来て下さい。
- 奨学金の問題について、大変わかりやすくお話されたので大変良かったです。制度の問題点がよくわかりました。理解が深まりました。
- 大変勉強になりました。孫が奨学金を借りて返済しています。長い年げんだと思うと大丈夫かなと心配になります。職場は安心な所だと思いますが、何があるかわかりませんが前を向いてまじめに返してほしいと思います。
- 奨学金を借りることで貧困が始まる奨学金の恐ろしさ。奨学金返還について努力している先生に感謝です。とてもためになりました。
- 私どもの子どもたちは何人も奨学金を借りて大学、専門学校、短大に行きました。稚内に高校以上の学校がなかったからです。助けられた奨学金の今がとても大変な現状になっている事に驚きました。

## 奨学金問題シンポジウム

### 全般的感想

- 授業料無償化国債で→将来への借金→教育の機会が増え、教育レベルがアップ→その子供たちが生産年齢になったとき返ってくる。日本のためになる。保育・介護職など賃金アップ、魅力ある職に。
- このシンポジウムを機会に、具体的な動きがあることを期待する。
- 今後の未来を担う子供たちのために、自分が何をしたらいいか、考えるべきかと感じた。
- 私は職場で奨学金関連の担当なのですが、大変理解が深まり、有意義なシンポジウムとなりました。ありがとうございました。
- 子どもの「幸せ」をベースに考えているのか疑問が残った。
- 頑張ってください。
- とてもすばらしい講演会・シンポジウムでした。ありがとうございました。
- 今後の稚内市の教育について考え直す機会になりました。参加していいと思える内容でした。
- 来られてよかったです。ありがとうございました。
- まとまりと方向性がしっかりとした、すばらしいシンポジウムでした。主催された方にお礼申し上げます。
- 自分自身奨学金制度を利用しており、現在返済している身です。完済が40歳手前になる予定で、途方もなく思っています。これからの子供たちは同じような苦しみを味わわないよう、制度改革してほしいと思いました。
- 貧困の子の学力や学習に向き合う心を育てることが急務です。「奨学金で中等教育を学ぶ意欲を保障する。」の前の段階です。そのため保幼小中教育をよりよくしていくための方策もしてほしいです。
- 安心して教育を受けれる時代がくればと願います。
- あまり深く考えたことのない内容でしたが、お話を聞いて改めて大切さを感じました。ありがとうございました。
- 時間もちょうどよい。
- 大きな企業、国の方針や在り方を変えていくのは非常に難しいです。それでも、小さな地域、小さな自治体の動きが全体に広まっていくのであれば、理想的だと思います。
- やっぱりやるべき。
- 子どもの貧困について考えるのは、大人の責任であると感じた。これだけ一生懸命考える大人が稚内に多くいることが心強いと思う。
- 稚内型の奨学金を創設できるといいと思います。
- 稚内型の奨学金制度は、稚内にその効果を「しっかり」もたらす制度がやはり必要だと思います。ただ給付型だというのは雑です。制度設計を緻密にしてほしいです。
- 大変勉強になりました
- とてもわかりやすかったです。財源は難しいし、小中学生にもしっかりお金をかけてほしいと思うので、教育費をもっと増やしてください。
- 奨学金を安心して借りられる、子供の夢をつぶさない日本の制度改革を強く願う。
- 貧困で自分の夢をすてない世の中になってほしい。
- テーマがかたよっていた
- 昨年度よりよかったです。企画してくださった方々、お疲れさまでした。
- 稚内で必要と感じたことと、奨学金の考え方も新たに持った講演会でした。
- とてもためになるお話でした。
- 難しい問題を詳しく聞けました。
- 今日是有意義な話を聞かせてもらいました。ありがとうございました。
- 社会の仕組みが現実とあっていないことが理解できた。
- 奨学金の制度の恐ろしさを学ばせていただきました。大学に行かなくても、安定した生活ができる世の中になってほしいものです。
- 貴重な機会でした。



- ふるさと納税みたく、ふるさと奨学金みたく制度を「変える」。
- 来年度も学習したいと思いました。
- 奨学金制度は必要だと思いました。稚内で有効的に使える奨学金制度が創設できればいいなと思いました。
- 大学の数には問題がないのか？大学へ行くことがいい事か疑問。奨学金制度だけでなく、抜本的な見直しが必要と考える。財源なくして事業は進められない。再配分の仕組みを考えてほしい。
- 今までの慣習、流れにとらわれず、「変える力」に共感しました。お金をつかわず、頭・体をつかって、システムの変換が必要な時代と感じる。
- 自分の弱みを見せていきたいと思いました。
- 貧困について考えさせられた。いい機会だった。
- 地元選出道議等にどのような働きかけをしていくのか（しているのか？）地方自治体が頑張るのは良い話のようだが、稚内以外の苦しい自治体は？稚内だけではなく、輪を広げるために、何をしなければならない、何ができる？
- 稚内の子供たちが安心して学べる環境を作るため、独自の制度ができるといいと思った。
- 大人の”良かれと思ってしていること”と子供の”望んでいること”がずれていないことを願います。大人の熱いパワーを子供たちが受け止めるパワーがあるかも気になります。
- 逆説の議論も必要では、親が貧困→子の学力低下→貧困の連鎖。貧困でも支援なしでも解決できる方策も必要。
- これからの社会、子供の為にも頑張ってもらいたい。
- これからも貧困対策が市民ぐるみで行われるよう期待と努力をしていきたいと思います。
- 毎回充実した報告だと思う。コーディネーターになってもただ名前だけではもったいない。コーディネーターの研修や実践などの場も必要なのでは……………。
- 「子どもの貧困プロジェクト」回数を重ね、素晴らしいものになって、難しいものだけど、すごくてまるで国の動きよりも早い、最北端の政治？国の見本？とにかくすごい!!と思いました。
- 貧困ときくと暗い話題ですが、岩重先生のお話や各プロジェクトチームの話を知ると何か、変わりそうな気持ちが持てました。稚内の取り組みはすてきだと思います。
- なかなかのシンポだね。
- 有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 有意義な時間でした。
- 貧困をいろいろな方向から考えさせられるものでした。
- 短い時間でしたが、奨学金の返済に苦しむ学生さんが出ないことを願いたい。
- 奨学金の返済問題がこんなにひどい国民的課題であること、はじめて知りました。あまりにも国民が大切にされない国・政治のありようになんとかしなければと感じました。
- 良かったです。
- 爆発的な人口増加と経済成長の後に育った大人として少子高齢化の現代に生きる知恵、ヒントをいただきました。
- 来年が楽しみです。
- 日本の教育にかける支出がやはりとても少ない。貧困だとあらためて感じました。
- たくさんの人たちと一緒に聞けたことは良かったです。
- ありがとうございました。
- 稚内型奨学金の実現を期待しています。
- プリントはできればカラー印刷に。グラフが見づらい。
- たくさんのお話、ありがとうございました。
- 自己の意識改革も大切だと思った。
- 貧困対策というテーマにこれだけ多くの人が参集したということはすごいと思えます。これが稚内市の力だと思うけれど、形にする段階です。弱さを克服してみんなで一步の前進をしたいと願います。
- 機会があればまた参加したい。

- 参加したことで考えるチャンスをいただきました。ありがとうございました。
- 全体でも大変良かったです。
- 貧困の為の事は昔からあった事例です。もう少し冷静になり、社会を見つめ、身の丈にあった生活をしてほしいものです。
- 短い時間でしたがわかりやすいたくさんのことを教わりました。ありがとうございました。
- とても勉強になりました。ぜひ、稚内型奨学金実現へ。
- 本来は借りたものは返す、そのために努力する事、でも勉強したい人には奨学金を借りると返すのにアルバイトが主に、安い学費で本当に勉強したい人に力を 良い社会になってほしいです。
- 医療、福祉、教育の稚内作りがスタートした気分です。「変える力」を広げましょう。
- これからも正しい知識が得られるような機会をお願いします。
-